

おみた *magazine*

OMITA MAGAZINE

小美玉市の文化・芸術総合情報誌 おみた magazine 第178号

〒319-0132 茨城県小美玉市部室10699 TEL: 0299-484466
【企画・取材】みのんば編集局(四季文化館みのんば内)
【編集・発行】小美玉市生活文化課 令和6年1月25日発行



Omitama
きらりびと



アートと交わる
わたしがひかる

撮影：赤上 恵
モデル：佐々木 泉、鴨志田 直哉

NEWS

- ① 四季文化館企画実行委員会委員
- ② コスモスプロジェクト委員 を募集します。



■ 募集人数：若干名 ■ 任期：令和6年4月～令和8年3月
■ 年齢：18歳以上 ■ 応募期間：2月末まで
■ 活動頻度：隔月1回会議&活動団体視察・面接
※応募はQRコードからお申し込みください(400字レポートがあります)。
※応募者多数の場合、選考します。

各館の自主事業の選定を行うアーツカウンシル(※)。生活者の視点から、地域の幸せにつながる事業を審査・決定。支援組織の実情を把握し、助言や組織同士のマッチングなど幅広い機能も果たす。
※アーツカウンシル：英国発祥で文化芸術の環境整備に携わる第三者機関を指す。事業を行う組織と行政とを仲介する役割。

■ 編集後記
昨年5月からバージョンアップした『おみたmagazine』。中でも、市内の文化活動をさまざまな角度から掘り下げる特集コラムは新たな試みです。皆さんと共に小美玉の文化を盛り上げていきます！令和6年も心豊かな一年になりますように、どうぞよろしくお願いたします。(瀧澤 比佐乃)

■ みのんば編集局
編集長 藤田 佐知子
記者 遠藤 雅樹、加藤 篤子、瀧澤 比佐乃、福島 ヤヨヒ、保田 孝雄
カメラマン 赤上 恵、齋藤 友幸
■ アートディレクター/デザイナー 清水 すず菜 (つばめ座)

小美玉文化情報
日々発信中！
アピオス
みのんば
コスモス
f f
@ @
x x

特集

「やりたい」を叶えられる場所

Where there is a will, there is a way.

取材：藤田 佐知子 撮影：赤上 恵

新規プロジェクトを立ち上げる際、まずMyuメンバー全員に声を掛けて、どんなテーマがやりたいかを自由に話せるお茶会を開くのがMyuの伝統です。そこで出たアイデアを基に脚本を創る「Myu文芸部」を立ち上げますが、脚本を書くには専門的な知識と型を身につける必要がありますので、劇団内で脚本講座を開き習得しています。企画を生み出す発見と喜びを知ると、日々起きている身の回りのことが脚本のネタになることに気づき、人々やまちな様子を観察するようになり、毎日が楽しくなります。今回、初めて作品の創り手側に入ってみて、こんなにも時間と労力が掛かることだったんだと驚きました。オリジナルの脚本、音楽、振付、舞台セット、衣裳など、これまで創っ

てきたMyuの先輩たちの苦勞と熱量を尊敬します。20年間熱い想いを絶やさずにMyuを育ててくれたからこそ今がある、と感謝の気持ちでいっぱいです。先輩たちが耕してくれた土壌に、私たちが今回、新作の種を撒きます。そこに寄り添って水をやり続けて世話をする人や、変化・刺激をもたらす風を運んでくれる人、あたたかい太陽の光をあててくれる人がいます。Myu・地域・まち・社会は、たくさんの人々の想いと役割によって育ち、日々の活動の土台がしっかりしてこそ新作が創れるのだと改めて実感しています。今年10月上演予定の新作ミュージカルの稽古が3月からスタートします。毎回初参加の方も多いため、ぜひ安心してご参加ください。

耕し続けた20年
先輩たちの苦勞に感謝



みの〜れ住民劇団
「演劇ファミリーMyu(みゅう)」代表

佐々木 泉さん

小美玉市生まれ。幼少期から家族の影響で演劇・ミュージカルを鑑賞。大阪芸術大学映像学科を経て20代で役者を経験。結婚後ほどなくして帰郷。5年前に長女とMyuに入団。2022年12月にMyu3代目代表に就任。

ContiNEW

「続」がコンセプト
バンド初ライブ3月

マーチングパフォーマンスグループ
「ContiNEW(コンティニュー)」

鴨志田 直哉さん

水戸市出身。茨城キリスト教大学児童教育学科卒。現在、小美玉市立納場小学校の教師。小学4年生でパーカッションをはじめる。中高では吹奏楽部に所属し、大学の時は都内でマーチングバンドに所属。2022年3月に「ContiNEW」を結成。



取材に立ち会って

中学校の生徒会で新しい企画を作るところです。佐々木さんと鴨志田さんの話を伺い、みんなが楽しんでくれるような企画を立てようと前向きな気持ちになりました。

ここ
演劇ファミリーMyu 藤本 瑚乎さん



バンドを結成したら、大きな舞台上でライブをやりたいと思っていました。そこで、ContiNEW結成2周年記念として、1st LIVEを企画しました。みの〜れ主催「小学生のための金管楽器教室」事業パートナーとなったことがきっかけで、ライブ会場をみの〜れに決めました。企画や舞台の使い方のことでいろいろ相談に乗っていただきありがとうございます。ContiNEWを立ち上げたきっかけは、ContiNEWの共同代表を務めている弟です。僕たち兄弟は2人もそれぞれマーチングバンドを経験してきたものの、一緒にやったことはありませんでした。社会人になって、仕事と音楽の掛け持ちがなくなり、音楽を辞めてしまう仲間たちの姿を見て「みんなの生活スタイルに合ったマーチングバンドを作ろう」という想いが弟と一致し、周りの人たちに声をかけてContiNEWを結成しました。はじめは4〜5人でやろうと思っていましたが、どんどん仲間が増えて、現在は23人で活動しています。「音楽活動を続けていこう」という想いはそのままバンド名ContiNEWとなり、ライブのテーマも「続」としました。

運営する立場になったからこそ気づいたことも多く、今はメンバーが達成感を味わっている姿を見るのが何よりも嬉しいです。仕事の関係で長野県から練習に通っていたメンバーは、ContiNEWが楽しくて、最近茨城県にUターンしてきました。他にも「ContiNEWが無かったら、自分はもう一生音楽には関わらなかった」と言うメンバーもいて、代表冥利に尽きます。このライブは、僕たちにとって一つのターニングポイントとなります。新しい表現に対する挑戦でもありますので、ライブを創る過程を通して一歩成長できて、ご覧になった方に楽しんでいただけたら嬉しいです。Myuは大人メンバーもたくさんいますよね。仕事や家庭と両立しながら長く続けていること、そしてチームワークの良さと大人数をまとめてあげているのが凄いです。20年かけて築き上げてきたノウハウはとても参考になるし、その存在はとても心強いです。今後もぜひ協力して一緒にやりたいと思います。



文化という言葉の意味は“土”にある。

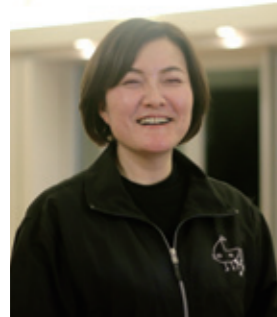
特集

文化を英語で言うと「カルチャー(culture)」。同じく英語で土を耕すことを「カルティヴェイト(cultivate)」。どちらも大地を耕すという意味のラテン語「colore」がその語源と言われています。つまり、「土地を耕すこと」と「文化」は同じルーツを持つ言葉。cultureは「(農耕を通して)心を耕す」の比喩が加わって、現在は文化や教養の意味でも用いられます。文化とは、伝統や格式に守られたものだけではなく、毎日の営みの中にあって醸成されていくものです。前のページの佐々木さんのお話にあったように、子どもたちや地域資源という種を育て上げているMyuの活動を図解してみます。

水の人

愛着を持って水加減で作る「関わりしろ」。

土に寄り添い、種に水をやり続ける世話をする、マネジメント的存在です。水は、やりすぎると根が腐り、少ないと枯れてしまいますよね。土(組織)や芽が育ってきたら水のやり方を控えます。たとえ自分でやったほうが早くても、いろんな人が関われるよう折を見て助けを求めたりして、関わりしろをつくるようにしています。自分で考え手を尽くすことで愛着も生まれますからね。



制作 柴山 真理子さん

光の人

全体を俯瞰し、本質を照らし出す。変化・表現を遠く広く伝える光。

大地全体を俯瞰し、土と種とそのあたり一面を照らす光。めきめきと成長し続ける種にサンサンと光を当て、その時々のもろもろな変化・表現をより遠く、広く人々に伝えること。そして土と種自身が気付いていない影の部分に気付き、本質を照らし出すことが光の人の役割だと思っています。Myuの皆さんには「いつでもそばにある」という安心感も感じていただきたいと思います。



グラフィックデザイナー / イラストレーター / 清水 すす菜さん



土の人

成長を願って「楽しいね!嬉しいね!」。みんなで歌いながら育む未来。

種を大きくたくましく育てるには、ふっくら柔らかく温かい土がいいですね。根をしっかり張れるよう、大きく成長できるよう願いながら、みんなで歌いながら「楽しいね!嬉しいね!」と耕すと、いい土ができるみたいです。Myuで大きくたくましく育った人たちは、同じところでまた活躍する人もいれば、違う分野に風の人、水の人、光の人として活躍する人もたくさんいます。



Myuの大人たち

風の人

新たな価値を創り出し、変化を巻き起こす。

風を運び、風を起こし、新たな価値を創り出す。土に変化を起こすのが、風の人々の役割だと思っています。今は都内に住んでいますが、小美玉市出身の私が音楽を通して故郷に貢献できるのは最上の喜びです。自分が培ってきたスキルや経験を次の世代に渡せる場としても魅力的。地元貢献するつもりで参加しましたが、皆さんから学ぶことも多く、稽古場に通うのが楽しみです。



音楽家 クロダ セイイチさん

種の人

わたしたちの活動、そして未来。

いつ、どこに、どんな種を蒔き、どのようにして育てるのかを考え、話し合い、みんなで育て上げる決意をします。芽を大きくたくましく育むという目的には全員の意見が一致していても、育て上げる過程には無限の選択肢が存在します。気候の変化が激しく、これまでの知見が通用しない今だからこそ正解はありません。トライ&エラーを繰り返しながら、この地道な努力を続けることが大切です。



文化を「耕す」。心を「耕す」。

CULTURE REPORT

2023年11月18日・19日 / みの〜れ
第37回 茨城県高等学校演劇祭

厳しい地区予選を経て選出された10校が出場。運営を務めた生徒実行委員長の大隅花梨風さん(取手松陽高2年)は、演劇の魅力について「スポットを浴びると、まぶしくて客席の様子が見えないけれど、代わりに違うものが見えてきます。人の生き方や考え方が多様にあることを学べる貴重な経験」として、これからも多くの人にその良さを伝えていきたいと話しました。(瀧澤 比佐乃)



2023年12月3日 / みの〜れ
いばらきビッグバンドジャズフェスティバル2023

県芸術祭の柱の1つで、小学生から社会人まで多世代のビッグバンドが集結する恒例企画。コロナ禍でも工夫しながら欠かさず練習を重ね、さすがと思わせる演奏ばかり。観る人聴く人演奏者までの誰もが楽しんだ1日でした。笠間から訪れた吹奏楽部の中学生は「自分もこのステージに立ちたい」と抱負を語りました。来年、みの〜れの舞台に立つ姿を期待しています。(福島 ヤヨヒ)



2023年12月16日・17日 / アピオス
アピオス小劇場vol.47 おやこDEジャズ

ジャズの生演奏に歌や芝居、絵本の読み聞かせなどを融合したアピオスオリジナル企画は、毎回、即完売。今回もたくさん子ども達が魔法のトンネルをくぐって、ムシさん達が住んでいるアピオスの森に遊びに来てくれました。子ども達は、ムシさん達と一緒に歌って遊んであっという間に帰る時間に。ムシさん達は、アピオスの森を飛び出し、後日、取手市でも開催しました。(保田 孝雄)



2023年12月2日 / アピオス
アピオス クリスマス フェスティバル

誰でも気軽に遊べる自由な空間「あおぞらひろば」を知ってもらうため、アピオスクリスマスフェスティバルを立ち上げました。小川文化センター活性化委員手作りのペットボトルツリーで、あおぞらひろばがエコな光に包まれました。ロビーコンサートやおはなし会、劇場探検も盛り上げを後押しし、たくさん親子連れが、心温まるひとときを過ごしました。(小川文化センター活性化委員 田村 智子)



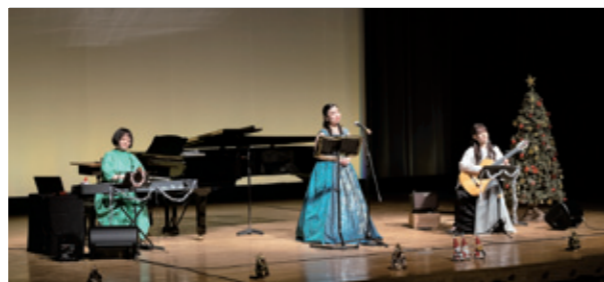
2023年12月9日 / コスモス
コスモス二十歳コーラス隊 クリスマスロビーコンサート

今年7月に30歳を迎えるコスモス。そのイベントとして開催。柔らかな日差しが差し込むロビーには、ツリーや飾りでクリスマスムード満載。おなじみのクリスマスソングや、9年間ずっと歌い続けた曲を披露。美しい歌声が響き渡りました。「コスモス30歳に向けてお祝いムードを高め、ますますみんなに愛されるコスモスにしていきたい」とメンバーは笑顔で話してくれました。(加藤 篤子)



2023年12月17日 / コスモス
クリスマスファミリーコンサート

赤ちゃんから年配の方まで多世代の方が来場。クリスマスシーズンの衣装や小物を身につけた来場者の姿も見られ、出演者と一緒にホール全体をクリスマスムードに染めてくれました。コンサート終了後も拍手が鳴りやまず、最後は、来場者と一緒に「あわてんぼうのサンタクロース」を合唱。絵本のかえっこも同時開催し、休憩中や終演後までずっと賑わっていました。(保田 孝雄)



INFORMATION

コスモス寄席



- 日時 3月10日(日) 14:00
- 会場 コスモス文化ホール
- 金額 一般:500円
高校生以下:無料
- 出演 麴家馬こと、
流しのてっちゃん 他
- 全席自由

笑いは心の潤滑油。落語、ギター漫談、マジックでうらかな午後のひとときをお過ごしください。

■発売中 / 0299-26-9111 (コスモス)

はじめての金管楽器教室



- 日時 3/27-30 16:30-18:00
19:00-20:30
- 会場 みの〜れ練習室1.2.3
- 金額 3,000円(全4回)
- 講師 ContiNEW

小3~6年生対象。各15名。楽器を全く触ったことが無くても大丈夫。イチからじっくりゆっくりやってみて、「音が出る」「合奏する」うれしさ・楽しさを体験できます。楽器はお貸しします。

■申込開始 2月10日(土)10:00~ / 0299-48-4466 (みの〜れ)

アピオスカラオケバトル



- 日時 3月17日(日) 14:00
- 会場 アピオス大ホール
- 入場無料(要整理券)
- 全席指定

歌に自信のある猛者たちが集結し、カラオケ採点で競い合います。ゲストは、「NHKのど自慢」の日本一を決めるチャンピオン大会で「グランドチャンピオン」に輝いた兼子結さん。

■配布開始 1月27日(土)10:00~/ 0299-58-0921(アピオス)

みの〜れ住民劇団 演劇ファミリーMyu 新作ミュージカル出演者募集



- 説明会 2月25日(日)14:00
- 会場 みの〜れ風のホール
- 応募締切 2月29日(木)
- 本番 10月上旬予定
- 金額 中学生以上:月2,000円
小学生:月1,500円
アンサンブル:3,000円

参加条件は、大勢の人たちと一緒に舞台を創り上げることに共感できる方&2024年4月時点で小学1年生以上の方です。

■受付中 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

2024年 2月~3月のイベント pick up ※このスケジュールは2024年1月6日に作成したものです。

開催日	イベント	開演	場所	主催・お問い合わせ先	料金
2月18日(日)	コスモスシネマ ①荒野に希望の灯をともし ②星屑の町	①10:00 ②14:00	コスモス文化ホール	コスモス 0299-26-9111	1作品1,000円 2作品目+500円
3月3日(日)	NHK「みんなDEどーもくん!」 公開収録	15:00	アピオス大ホール	アピオス 0299-58-0921	無料 (要申込)
3月10日(日)	コスモス寄席	14:00	コスモス文化ホール	コスモス 0299-26-9111	一般500円 高校生以下無料
3月17日(日)	けん玉 ART&PLAY	10:00	アピオス小ホール	アピオス 0299-58-0921	一部有料 (要申込)
3月17日(日)	アピオスカラオケバトル	14:00	アピオス大ホール	アピオス 0299-58-0921	無料 (要整理券)
3月23日(土)	光と風のステージCue Vol.72 「木村祐 ギターコンサート」	19:00	みの〜れ風のホール	みの〜れ 0299-48-4466	1,000円 (1ドリンク付)
3月24日(日)	ContiNEW 1st LIVE	13:30	みの〜れ森のホール	ContiNEW 080-6251-0721(代表)	指定席:1,000円 自由席:500円
3月27日(水)~ 3月30日(土)	はじめての金管楽器教室 ①ちょっとだけ経験者コース ②はじめてコース	①16:30 ②19:00	みの〜れ練習室1・2・3	みの〜れ 0299-48-4466	3,000円
3月31日(日)	出張!なんでも鑑定団 in 小美玉	13:00	アピオス大ホール	アピオス 0299-58-0921	無料 (要申込)